

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

茨城県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う  
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について（H29.1.6 19：00）

### 【調査結果について】

茨城県鹿嶋市において12月18日および26日に回収されたユリカモメ計2羽および12月28日に回収されたオオハクチョウ1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月5日（木）～6日（金）に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況や死亡野鳥などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

### 1 調査結果

○1月5日～1月6日にかけて、茨城県鹿嶋市の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内及びその周辺の、渡り鳥の飛来地等の計11地点（4地点は10キロ圏外）において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

○茨城県、千葉県等により調査期間内に野鳥監視重点区域内で回収し検査した死亡野鳥等は認められなかった。

### （参考）

○観察された鳥類 61種

うち、リスク種1 9種（オオハクチョウ、コブハクチョウ、キンクロハジロ等）

リスク種2 10種（マガモ、オナガガモ、ユリカモメ等）

リスク種3 13種（カルガモ、ヒドリガモ、カワウ等）

\*本調査結果は暫定値です。

\*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

### 2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、茨城県、千葉県等と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 ([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成29年1月6日(金)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

関東地方環境事務所野生生物課

直 通：048-600-0817

課 長：澤 邦之

広域鳥獣保護管理専門官：鈴木 真野